

# 意思決定論A

大規模授業でのディスカッション、グループワーク、アクティブラーニング促進のための、「ディスカッション・シート」、「サマリー・シート」、「Quizlet」の活用

## 講義の概要・ねらい・進め方

リベラルアーツ研究教育院・教授 猪原 健弘

意思決定論における重要な意思決定問題を取り上げ、解決策、解決策の利点や欠点、そこから得られる示唆を、ディスカッション、グループワーク、講義、演習を通じて検討する。意思決定論が扱う意思決定問題の代表例と解決策、および、意思決定論の基本概念と基礎的な知見を理解・修得させると同時に、意思決定論への興味を喚起することが本講義のねらいである。

1回の授業で1つまたは2つの意思決定問題に取り組む。

その意思決定問題について、受講生が、はじめは1人で、次に他の受講生とペアで、さらに4人のグループで、最後に受講生全体で検討する。その後、取り上げた意思決定問題についての講義と演習を行う。授業の最後に、個人の考察や他の受講生の考え、講義、演習を通じて学んだことを、受講生それぞれが「サマリー・レポート」に書いて提出する。そのために、次の3つを活用。

1. 受講生同士の対話を促すための「ディスカッション・シート」
2. 授業で修得したことの定着を狙う「サマリー・シート」
3. 学生の考えや質問、提案にフィードバックするための「Quizlet」 (<https://quizlet.com/ja>)

⑤ 教員がサマリー・シートの内容をQuizletに入力、学生と共有

① 教員がQuizletを使って前回授業のフィードバック

② 教員による出題

## 授業の流れ

④ 学生が、修得したこと、質問、提案、感想等をサマリー・シートに記入

③ ディスカッション・シートを使って学生同士がディスカッション、意見交換

## 効果

1. 200人規模の授業でもディスカッションを活性化可能(ディスカッションシートを利用し、グループの人数を1人→2人→4人と人数を増やす)。
2. Quizletの利用により、受講生の質問やそれに対する回答が共有可能な形で残る。
3. サマリーシートの利用により、授業中の学生の授業参加度を測ることができ、成績への反映も容易(シートとスキャナは市販品。専用の集計ソフトを使えば、学籍番号に紐づけて、シートの画像データを保存でき、成績評価への反映も容易)
4. 受講生同士(当科目の受講生は主として学士課程1年生)の人的ネットワーク構築に有効。